

大阪労働者学園第5期生募集

5月10日(火) 開講

☐ 学園への案内

新しい労働運動をめざして大阪労働者学園が発足したのは一昨年三月でした。そして今、私たちは過去二年の試行錯誤を経て、ここに第五期を迎えようとしています。たしかに、ほかの類似の労働者学校にくらべて私たちの歴史は浅い。しかしこの二年、高度成長経済の挫折と不況進行、日韓条約批准やベトナム戦争の拡大など、私たちをとりまく国内・国際状況が深刻化するにつれ、あらためて既成の運動の欠陥と私たちの方向の正しさを痛感しています。

大阪で働く皆さん、私たちは職場にとじこもっているかぎり、どうしても視野が狭くなってしまいます。組合活動にしても、サークル活動にしても、職場の中だけではどうしても進歩しないものです。組合活動やサークル活動をやっている人には、学園は広い視野にたって活動の方針をあたえてくれるはずで

また、いろいろな職場から集まった人たちのあいだでは、サークルが作られお互の職場の状況について意見を交換することもできるし、友人をもつこともできます。学園を卒業していった人々も、現在、多くの職場で組合活動やサークル活動に活躍していますし、卒業生同志あつまって読書会などをつづけています。

学園は、真剣に自分の生活を生きている労働者の場です。学園は、自分たちの手で自分たちの歴史を切りひらいていこうとする人すべての場です。お互の連帯と学習をもって進みましょう——大阪労働者学園に、一人でも多く参加して欲しいと思います。

☐ 要 項

1. 場 所 大阪府立労働会館(京阪天満駅・下車3分)
2. 日 時 5月10日 ~ 7月14日までの毎週火木・午後6時30分より9時まで
3. 聴 料 1,500円
4. 入 学 金 500円
5. 開 式 5月10日(火)6時30分、大阪府立労働会館
6. 定 員 50名(申込順) (当日申込可)
7. 申込方法 下記のいずれかに郵送又は持参して下さい。

- (1) 大阪市北区高垣町8-5 曾根崎書店(361)6721
- (2) 大阪市北区中央郵便局内私書函856号
- (3) 京都市左京区吉田本町1 京都大学経済学部平井研究室内 竹本信弘

☐ 学 園 長 藤 本 進 治 (哲学者)

☐ 顧問並びに講師(代表者)氏名

京大教授	河野健二	評論家	谷川 雁	高野 澄	柳田 猛
京大助教授	平井俊彦	哲学者	藤本進治	前田裕悟	竹本信弘
"	野村 修	作家	小松左京	仲尾 宏	山辺知紀
"	足利末男	劇作家	福田善之	久松俊一	今村仁司
"	高原宏平	"	宮本 研	岡村 健	
立大教授	奈良本辰也	評論家	加藤三郎	武田信照	

☐ 講 義 概 要

(1) 新しい労働運動の創造のために

○解説 最も身近に体験するもの、それが労働運動です。然し、労働運動の現状が、真の意味で労働者階級に課せられている任務を果しているのかというと、非常に疑問だらけです。

そこでこの講座は、運動の本質的意義を、現実の運動と関連させながら、日々の問題を例に、直接役に立つものとしてやっていきたいと思ひます。理論と実際を一致させ、基礎から始まって、自分で考え、判断できる努力を、この講座の中で体得して頂きたいと思ひます。そこで六回のテーマは、それぞれ、互いに関連させ、3回迄を基礎知識と問題はあくに、4回目からは実際の問題をテーマとする設定になっています。

レジメは、参考文献の紹介と、他は講師が作成したのを使ひます。

- ① 5月12日 "労働運動とは何か(総論)," 佐野 or 山本
- ② 26日 "戦後労働運動史 1," 前田
- ③ 6月 9日 "戦後労働運動史 2," 前田
- ④ 21日 "職場抵抗斗争について," 畑中
- ⑤ 23日 "合理化と賃金," 畑中
- ⑥ 7月 7日 "労働運動の現状及び今後の方向,"

(2) 日本の近代とその思想

解説 現代の日本を考えるにあたって欠くことのできないのは、後進アジアの中で日本がどのような歩みをたどって、いわゆる先進国の仲間入りをしたのか、そのためにどのような運動や思想が、それを支え、またどのようなひずみを労働者階級や革命運動にもたらしたのか、という点を明らかにすることである。「明治百年」を控え日本の近代を広い視野からその構造と社会運動に中心をおいて考えてみたい。

- ① 5月17日(火) 大塩平八郎の乱と天保改革 (高野)
- ② 5月31日(火) 明治維新と近代化 (高野)
- ③ 6月7日(火) 欧米の近代革命と日本 (仲尾)
- ④ 6月14日(火) 明治憲法と自由民権運動 (仲尾)
- ⑤ 6月28日(火) 日露戦争と明治社会主義 (高野)
- ⑥ 7月5日(火) 日本労働運動の曙と日本の労使関係 (仲尾)

(3) 日本における“賃労働と資本” 働くものの経済学

解説 経済学は、近代資本主義社会の経済的運動法則を明らかにするものである。だから、科学的な経済学にもとづかずに、私たちをとりまいている世界を分析することは出来ないし、私たち自身の置かれている位置を明らかにすることも不可能である。＜経済学講座＞ではまづ資本主義社会の構造とその歴史的な性格について考え、賃金、価格、利潤などについて明らかにし、それを土台にして、日本の具体的な問題を分析する。そして、最後に日本の階級的な構造についても考えてゆきたい。

- ① 5月19日(木) 経済学とは何か (柳田)
- ② 5月24日(火) 資本主義生産の成立とその秘密 (柳田)
- ③ 6月2日(木) 資本主義生産の矛盾 (柳田)
- ④ 6月16日(木) 日本資本主義 1 (武田)
- ⑤ 6月30日(木) 日本資本主義 2 (武田)
- ⑥ 7月12日(火) 日本資本主義の当面する経済問題 (武田)

(4) 特別講演 時事問題を中心に

- 5月10日(火) 藤本進治氏
- 5月28日(土) 新開純也氏 (予定)
- 6月25日(土) 山本勝也氏 (予定)
- 7月14日(木) 佐野茂樹氏 (予定)

<p>入 学 申 込 書</p>	<p>氏 名 _____</p> <p>住 所 _____</p> <p>職 場 _____</p> <p>年 令 _____ 性 別 _____</p>	<p>大阪労働者学園第5期を、聴講料、入学金2,000.00円をそえて申込みます。</p>	<p>入学の目的(○をつけて下さい)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 一般教養のため 2. 労働運動をすすめるため 3. 社会主義に興味があるから 4. その他
<p>大阪労働者学園御中</p>			